

# しわ おか

小四  
すずき  
はるか



4年  
鈴木春香さん

※「わ」の丸くする部分がとてもむずかしかったです。名前がうまく書けました。



1年  
鈴木翔平君

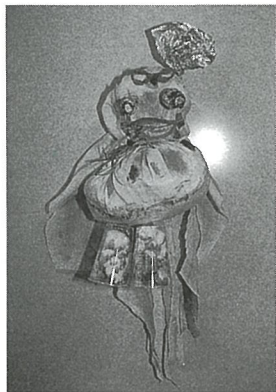
※「とめ、はら」に気を付けて、ていねいに書きました。



## あつまれ みんなの 力作



5年  
林なつきさん

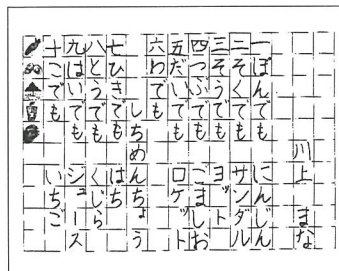


『変なおよめさん』

※およめさんの足を紙コップで立てるのがすくむずかしくてたいへんでした。



2年  
川上真菜さん



『一本でもにんじん』

※ひとつひとつの字の力だに気を付けました。かん字がむずかしかったです。



6年  
高梨寛子さん

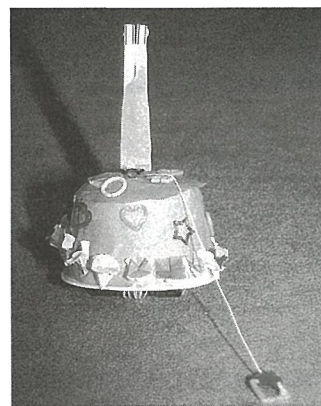


『私の顔』

※私はかみの毛がよくできたと思います。黒やこげ茶など色使いを工夫しました。



3年  
須合信江さん



『お花かたつむり』

※つくくようにするところがむずかしかったです。ストロ―も使つてうまくできました。

評者吟  
若葉して嘯くごとし風の木々

### 短評

椎名しげる

新緑の中に子の家建ちており  
布施喜美雄 (二又)

万緑や愚痴言わぬ母古稀迎ふ  
大谷 武彦 (木戸)

仰ぎ見る新樹の覆ふ忠魂碑  
川島 通則 (二又)

新緑の葉裏返して風の道  
大木 素風 (二又)

鴨川 篤 (尾垂)

退院を指すすりハビリ新樹風  
土屋 義昭 (虫生)

一日も早い社会復帰をとりハビリ  
に励む日々、新緑を渡つて来るそ  
よ風が優しく包む。

裳裾引く花嫁と父みどりさす  
布施 和代 (二又)

父と腕を組んだ花嫁の純白なウエ  
ディングドレスが、新緑に調和し  
て一幅の絵を想わせる。

新緑や老いの勇気を揺り起す  
秋山 一泉 (栢田)

清すがしい生命力の溢れる新緑の  
景観は、老年者たらずとも生きる  
力を与えてくれる。

